

# 福井県 学校施設の長寿命化計画（概略版）

## 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

### ① 背景

- 今後15年で、第二次ベビーブームを受けて整備した施設の更新時期が一斉に到来
- 建替えを前提とした従来の整備手法では対応が困難

### ② 目的

- 学校施設の中長期的な維持管理等にかかるトータルコストの縮減および予算の平準化
- 学校施設に求められる機能・性能の確保

### ③ 計画期間

2019年度～2028年度までの10年間

### ④ 対象施設

高等学校 30校（敷地別）  
特別支援学校11校

## 学校施設の目指すべき姿

「教育に関する大綱」の基本理念の人づくりを進め、新たな時代を見据えた教育環境を実現するため、以下のような機能・性能を確保し、子どもたちが集中して学べるような学校施設を目指す

### 1. 安全性

- ・地震や津波、洪水等の災害に強い
- ・防災機能を備えている 等

### 2. 快適性

- ・「暑い」「寒い」を緩和する断熱性能や設備を備えている
- ・洋式化・乾式化がされ、清潔で快適なトイレを備えている
- ・ユニバーサルデザインに配慮している 等

### 3. 学習活動への適応性

- ・ICTを活用した学習や授業改善が可能な環境を整えている
- ・魅力ある学校づくりのための環境を整えている
- ・きめ細かい指導を行うための空間を備えている
- ・ふるさとを愛する心を育む学習を实践する環境を整えている 等

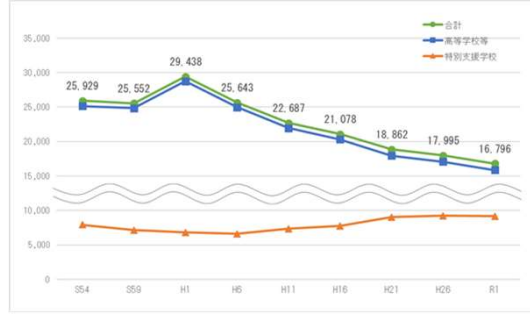
### 4. 環境への適応性

- ・環境負荷低減、省エネルギーに配慮している 等

## 学校施設の実態

### ① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

○1989年（H1年）をピークに生徒数は減少傾向



### ② 学校施設の老朽化状況の実態

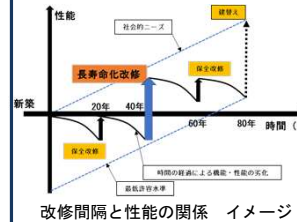
○大規模改修工事未実施物件を中心に劣化が多く存在



## 学校施設整備の基本的な方針

### ① 学校施設の長寿命化の基本方針

- 1) 長寿命化の推進  
(80年以上の使用を目標)
- 2) 時代に即した学習環境・機能の向上  
(教育環境の改善・安全性の向上)
- 3) コスト縮減・予算平準化に配慮した改修の実施  
(残り使用期間を考慮し、改修内容を吟味して実施)



### ② 学校施設の規模適正化等の方針

- 1) 生徒数減を考慮した手戻りのない施設整備  
(改修等の順番等について配慮・調整)
- 2) 改修未実施範囲の設定と維持  
(最低限の修繕のみ実施する範囲を設定)

## 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

○長寿命化改修としてリノベーション工事を実施

### 【リノベーション工事】

老朽化対策  
+  
トイレ洋式化、省エネ対策、  
バリアフリー化、断熱補強 等

○過去にリフレッシュ工事等を実施した建物については、改修メニューを限定して実施

例) 平成23年度以前にリフレッシュ工事を実施した建物の改修  
・外部建具は取替はせずシーリングの打直し等を基本  
・配管配線等は最低限の補修のみ実施  
・トイレは洋式化・乾式化するがそれ以外の部分の内装等は改修しない 等

○快適に学習できる環境整備を3か年で集中的に実施

- 普通教室の空調設備更新
- 普通教室のある教棟の生徒用トイレの洋式化

## 方針を踏まえた改修等の実施と継続的運用方針

### ① 改修等の優先順位付け

- 原則、築年数の経過しているものから改修を実施
- 再編整備や改修未実施範囲等を考慮 等

### ② 情報基盤の整備と活用

- 各種台帳など既存情報の洗い直しによる施設状況の把握
- 修繕工事等の際の図面化など

### ③ 推進体制等の整備とフォローアップ

- 上位計画の改定等により見直し
- 工事の内容がより良くなるよう、工事発注がスムーズに進められるよう必要な調整を実施